

## 第77回明石市環境審議会 議事概要

令和5年2月16日（木曜日）13時30分～15時

明石商工会議所 5階大会議室

### 【議事1】明石市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)素案について

#### ○事務局より素案の説明（資料1）

#### <主な質疑>

#### 第2章 本市の地域特性

○9 ページの人口世帯数の推移と10 ページの市内総生産の推移のグラフについて、この2つのグラフのみ、フルスケールスパンではない。何を強調するかでグラフのスパンの取り方も変わらと思うので、その意図をお聞きしたい。

(事務局)明石市第2期 SDGs 未来都市計画で使用されているグラフを引用したものであるが、それぞれ人口増加、総生産の増額基調を強調するために採用されている。脱炭素分野においても、今後人口が増加するなかで、家庭部門の対策は重要であるという文脈になるので、強調する意図で使用している。

(会長)意図は承知した。グラフの下はゼロにして、縦軸に波線を引いて省略表記する形にて修正願う。

○13 ページの図2-11の再生可能エネルギーの種別ポテンシャルについて、地中熱の割合がかなり大きい。コストの課題はあるということであるが、今後、技術革新などでコスト改善が図られる可能性もあるので、施策の中で地中熱も検討する旨、盛り込んでおくべきではないか。

(事務局)現在はコストの課題があるが、技術開発が進めば、普及させていくターゲットになると考える。2030年までの計画を考えた場合には、優先順位としてコスト的にも太陽光が最も取り組みやすく、普及を拡大させていく段階にあると考えているが、地中熱についても盛り込むべきか検討する。

#### 第3章 将来ビジョンと脱炭素社会実現に向けた基本的な考え方

#### ○20 ページのイラストについて

・メガソーラーとエネルギーの地産地消の表現があるが、基本的には山を切り開いて太陽光を設置しようという形ではなく、建物の上に置くのが今の流れと思う。山の中にメガソーラーがあるのは、誤解を与えらと思うので、なくした方がよい。

(会長)メガソーラーはなくす

(事務局)地産地消という言葉が計画に出てくるので、表現として残しておきたい。メガソーラーの絵については差し替えるか含め、検討する。

- ・スマート農業というのは何か？ 2050年に向けて明石市としてやるべきこと、やりたいことは絵として残した方がいいが、そうでないなら、絵をカットしてもいいのではないか。全体の情報が多いので、絞り込んでもよいのではないか。

(会長)人工知能など情報技術を活用して、効率的に農業を行おうというもの。

- ・一般の人にも分かり易い言葉を使うべき。横文字が多く、ウォークアブル、イノベーション、サステナブルとか、日本語に言い換えができるものは、あえてカタカナで書かなくてもよいのではないか。

○23 ページで、基本的な考え方が①から④までであるが、例えば②や③の考え方は、どの章に反映されているのかなどが、わかりにくく、整理して伝える必要があるのではないか。

(会長)①から④の考え方は厳密に各章と1対1で対応しているものではなく、計画全体に複層的に反映されている考え方であるので、そういう趣旨が伝わるように説明を追加する。

## 第5章 緩和策

○全体的にコンパクトというワードが多数出てくるが、違和感がある。特にコンパクトプラスネットワークと脱炭素のつながりがしっくりこない。

(事務局)コンパクトの一つの捉え方として、明石の町の特徴として、人口密度が高いという点がコンパクトであるといえる。また、駅ごとに街づくりが進んでおり、そういう小さな単位でもコンパクトである。商業施設や医療施設などがすべてコンパクトに立地して、歩いて移動しやすいまちになることで、自動車利用が減り、CO<sub>2</sub>の削減にもつながる。

(委員)コンパクトは小さいとかスモールとかではない。明石は、都市部や過疎部と比べて街としてこじんまりまとまっている。歩いてどこでも行ける。そういう意味でコンパクト。

○太陽光発電設備に関しては、いろいろな課題もある。廃棄処分や重金属の問題。そうした点が計画で触れられていないので、課題があるということは指摘しておいて、問題が出てきたら見直すというようなニュアンスを計画に入れておいた方がよい。

○計画の中で、原子力発電の件は全く触れられていないが、これは市としてはノータッチという姿勢でよいか。

(事務局)国の政策によるところなので、市の計画では言及しない。

## 第7章 計画の推進体制

○図7-1の推進体制で、具体的にどのような専門家と協力関係になるとか、どのようなステークホルダーを選ぶのかなど、いつ決まるのか？

(事務局)現時点ではまだ決まっていない。部会には、エネルギー事業者やコンサルなどに入ってもらっているので、そういう関係性を広げていくことも想定している。

**【議事2】今後のスケジュールについて**

○事務局より説明（資料2）

質疑：特になし

**【議事3】自然環境部会の報告**

○自然環境部会委員より説明（資料3）

質疑：特になし

以 上